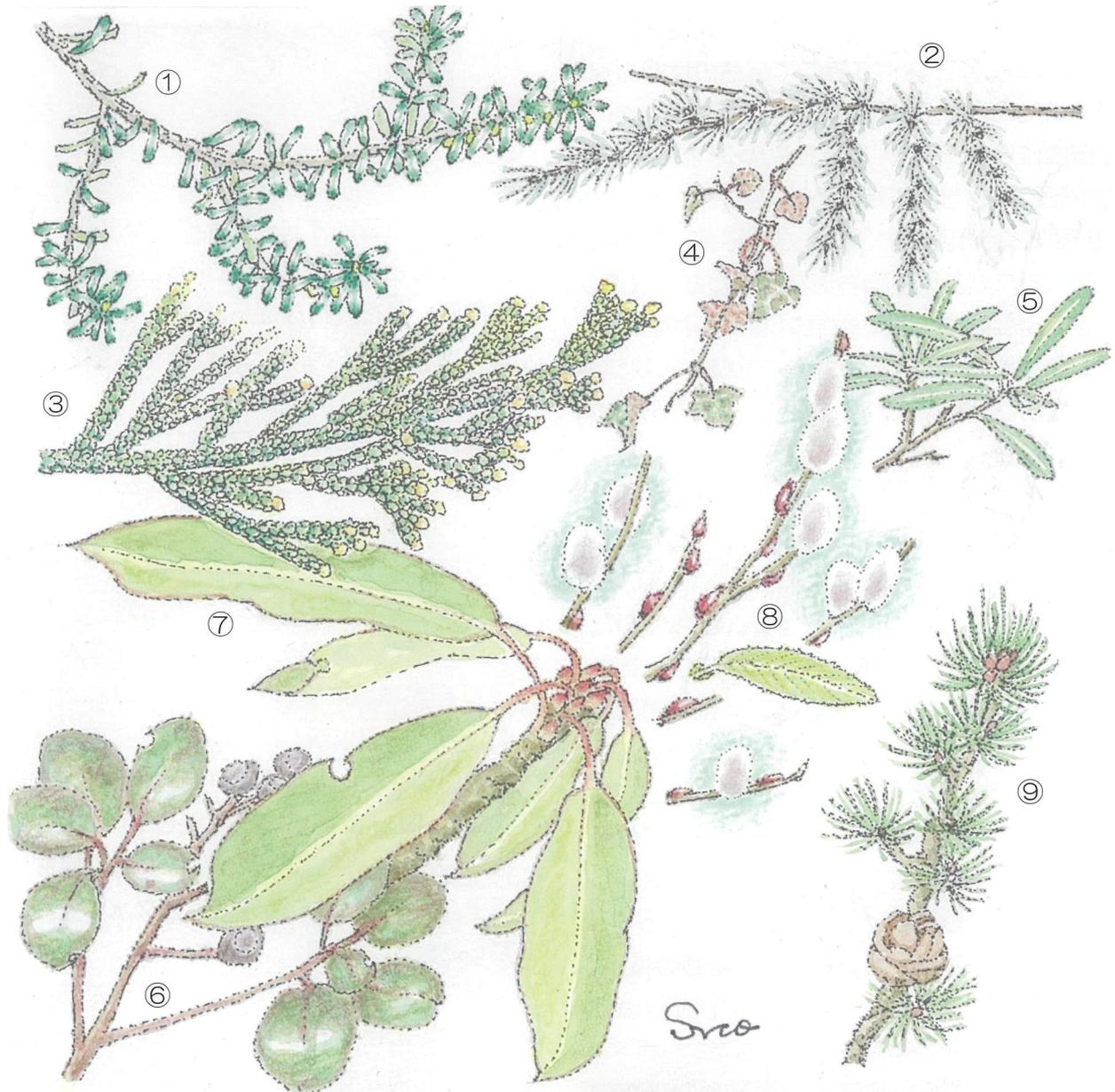


ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第70号 2023年3月



ほたるの里のはっぱ (早春)



- ①ツガ (7~25 mm) ②ヒマラヤスギ (ヒマラヤシーダー) (2~5 cm) ③アスナロ ④キツタ (フユツタ) (3~7 cm) ⑤イヌマキ (10~15 cm) ⑥シャリンバイ (5~8 cm) ⑦ユズリハ (15~20 cm) ⑧ネコヤナギ (カワバタヤナギ, エノコロヤナギ) (6~13 cm) ⑨ヒメコマツ (2~6 cm)

※この里だよりは 令和4年度 ちば環境再生基金助成金 (県民の活動) を頂き作成しました。

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 25 年記念の集い

ほたるの里「これまで～今～これから」

日時：2023年3月11日(土) 10:00～12:00

会場：八千代市市民会館 第3会議室 参加者：62名(関係者14名含む)

ほたるの里は平成4年度、印旛沼放水路・桑納川水辺空間整備計画の中に位置づけられ、平成5年度調査が始まり、平成7年度から9年度環境整備工事を経て、平成10年度に実行委員会が発足し環境整備活動がスタートしました。

里の目的は、「生き物を通して自然の仕組みを理解するため、ホタルをはじめ多様な生き物の生息環境作りを、市民・事業者・八千代市とのグラウンドワーク方式で進める」です。

実行委員会発足から25年が経ち里の景観も大分変わりました。生物も当初より豊かになり、平成27年度には、環境省から「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されました。

選定理由は「多様な生物を保全・再生するために長年活動し、今後も継続していくと期待される」と聞きました。

金室会長からは、前加藤会長の後を引き継ぎ、ホタルメイトや多くの方のご協力・ご支援をいただき長年活動でき、ホタルをシンボルにした多様な生物がすめる里に近づいてきたことへの感謝と、今後も多くの方に里へ来て、生き物とふれあい、支援をお願いしますとのことでした。

八千代市環境保全課環境政策室長山崎氏からは、ほたるの里が作られた経緯とこれまでの感謝、これからのに向けて市民のご協力をお願いしたいとのことでした。

里の歩みは、発足時の里の写真、活動の様子、平成14年度「ホタルサミット in 八千代」、里の活動、生き物等を簡単に紹介しました。

基調講演「ビオトープの再生とこれからへ向けて」は、千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター室長 小野 知樹氏よりお話をいただきました。

「ビオトープとは」の説明から、取り組み、生き物との関わりなどについてでした。



どのようなビオトープを作るかは、作る側・管理する側の合意形成や持続することの重要性について事例などを入れながら話されました。最後にほたるの里の持続へ向けた取り組みに期待していると結ばれました。

事例紹介「ビオトープ活動から見えてくること」は、(一社)グループ2000 代表の横田 耕明氏より、千葉県稲毛区の小学校での活動「いのちの森＝学校ビオトープ」についてお話をいただきました。

いのちの森は里山をモデルに作られた。森の役目として、「自然体験の場所」「千葉の自然生態系の復元」「自然環境について学ぶ場所」「いのちの大切さについて学ぶ場所」「心身がやすらげる場所」を掲げていること。それに向けて、PTA・地域の住民・学校の協力・支援を得て継続している秘訣。児童たちが校庭の一角にあるいのちの森で育まれている様子。ビオトープの管理で重要な水の管理についてでした。

お二人のお話から、これからのほたるの里の活動へ向けてのヒントが多くありました。

意見交換会では2名の講師への質問を主に話が弾みました。多様な生物がすめる整備の仕方、ホタルの生息環境作りなどでした。会場の入り口には「里だより」に掲載している絵の原画も展示しました。楽しい集いでしたと笑顔でお帰りの様子に運営側もうれしくなりました。

これからもほたるの里へご支援・ご協力お願いします！ (文責：桑波田和子：ホタルメイト)

ほたるの里活動25年

成田 忠志 氏 (ホタルメイト)

ほたるの里活動に参加したのは、実行委員会発足後まもなくと思う。初代の会長である加藤氏が、実行委員長を務めることになったが、メンバーが少ないことから私もメンバーであった街づくり市民の会に要請があり、米本地区から近い村上団地のメンバーも参加することになった。

私以外のメンバーとなった杉谷榮氏(故人)や森繁氏の活動は、今日の活動基盤を形成する一環となっていると思っている。

当時の加藤会長はよく、「右手にシャベル、左手にビール」と言っておられた。これは「ボランティア活動の後には、皆でビールを飲みながらワイワイと話しながら楽しもう」という趣旨であるが、文化人類学者でナチュラルリストである、ケビン・ショート氏がよく話されていたと伺う。

25年前のほたるの里は、トンボ池を中心に水を循環させる小川などは、現在と同じであるが、周囲には大きな木は数本のみであり、低木が植栽されたばかりであったと記憶する。

25年の間には、植栽された樹木のみでなく、鳥類によって運ばれた新たな木もあり、自然の営みを感じる。また、別な思い出として、ホタル博士として有名な大場信義博士から、見学に行った神奈川県横須賀市の現地説明をメンバーと共に受けたことも挙げられる。

その現地は、小溪谷と言った方が良いのか、崖から湧水が流れ、小川にはカワニナが生息している場所であった。大場博士の仲間がどのような作業をされたかは不明であるが、「一つの里山にホタルが自生するのに、30年はかかる」との大場博士の言葉が記憶に残っている。私共の活動もまだ25年、継続することによってホタルが自生する姿を見ることを期待している。

ここ数年はコロナ感染で、なるべく大人数の場所には出ないようにとの自粛を求められていたが、ウイズコロナ禍の中、あらたな気持ちで金室会長以下のスタッフの皆さまと作業に取り組む所存です。

ほたるの里づくりに参加して“今”思うこと

板橋 忠生 氏(ホタルメイト)

私は、ほたるの里を昨今注目されている生物多様性を念頭に様々な生き物が自生できる場所を目標とし、また環境活動を通して様々な業種・経歴のヒトとヒトが交流できる人物多様性の場を作りたいです。

私がほたるの里づくりに参加して早5年になります。はじめはホタルを見たいなという気持ちでこの会に参加したのがきっかけで、まさか毎月一回の環境整備に参加するとは思いませんでした(笑)。初めて参加した日に、ホタルメイトという会員制度をご紹介していただき、今日まで楽しく続けることができました。

驚いたのが、入会当時ほたるの里実行委員会の環境政策室のご担当者が知り合いです。その人は私と大学の出身研究室が同じで、卒業以来の再会になりました。私以外にも、参加された方とホタルメイトの息子さんが同級生だったというお話も聞いています。

最近思うことは、昔ありふれていた生き物が減ったなということです。私は小さい頃、トウモロコシ畑やダイコン畑を走り回り、トンボやチョウを虫かごいっぱい捕まえ、あまりにもいっぱいなので母にトンボの佃煮でもするのかといわれた記憶があります。月日が流れ、社会人になり畑を手伝うと、空を見上げるとたくさんいたトンボがほとんどいないと思いました。どこに行ってしまったのか…。

昨年、ほたるの里づくりに参加してから初めてホタルを観察できました。世の中で生き物がどんどん減ってきていますが、ほたるの里では様々な生き物が増えつつあります。アカガエルなどの希少種のカエルも湿地に毎年産卵に来ています。生き物豊かなビオトープをつくるため環境整備をつづけ、またそれに参加された方々と交流を深め、楽しい活動にしたいと思います。

写真からみるほたるの里 25 年間の歩み

里の景観から

(平成 10 年)

(令和 4 年)



主な取り組み



(平成 14 年ホテルサミット in 八千代)



(令和元年 八千代市サポートセンター祭り)



先進地視察から学びました



(平成 28 年 佐々木 洋 氏 親子観察会)



(平成 27 年 見沼たんぼ視察)

写真から見るほたるの里 25 年間の生き物

(昆虫)



(ジャコウアゲハ)



(アブラゼミの羽化)



(ツチイナゴ)



(ショウジョウトンボ)



(ハイケボタル)



(ツバメシジミ)



(ルリタテハ)

(水辺の生き物・鳥)



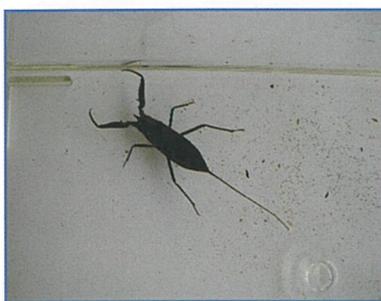
(ニホンアマガエル)



(トウキョウダルマガエル)



(ニホンアカガエル)



(ミズカマキリ)



(マルタニシ)



(カワセミ)



(カルガモ)

(草・木)



(ハンゲショウ)



(カワラナデシコ・ミソハギ)



(キンラン)



(コナラ・クヌギ)



（11月）トンボ池のかいぼり



（2月）里の木を活用したバイオネスト

里からのお知らせ・・・

おやこ生き物探検隊開催しました



水の中にもいろいろな生き物がいたよ！

日時：2023年2月18（土）
13：00～14：30

場所：ほたるの里
参加者：親子7組（14名）
講師：福土 融 氏
スタッフ：7名

内容：冬の生き物探検
トンボ池・湿地・木・花・虫など探した生き物を、ビンゴカードに記入しました。冬でもいろいろな生き物がいると分かりました。

◆市民活動フェスティバルに出展しました

日時：11月27日（日）10：00～16：00

場所：勝田台文化ホール3階ホール

内容：ほたるの里の活動紹介をしました。コロナ禍でしたが、今年は3年ぶりの開催でした。久しぶりに市民団体の方とも交流出来ました。また、勝田台中学校の吹奏楽演奏もあり、若いパワーをいただきました。

◆ほたるの里総会案内・

日時：2023年4月8日（土）9：30～10：30

会場：やちよ農業交流センター 第1研修室 第2研修室

内容：令和4年度事業報告・収支決算

令和5年度事業計画・予算案

※総会終了後（10：40～12：00）、島田谷津・桑納地区をウォーキングします



〔編集後記〕

活動写真を眺めながら令和4年度を振り返ってみました。相変わらずのコロナ禍でしたが、参加体験の活動が出来るようになり、お互いに元気が出てきました！
来年度はもっと！！です。（広報部）

〔ほたるの里 連絡先〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5 八千代市環境政策室内

Tel：047-483-1151（内線2216）

E-mail：kankyoku1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html

〔編集〕広報部会・事務局